

(別紙 2-1)

意見書様式(修正文案用)
(沖縄21世紀ビジョン基本計画(沖縄振興計画)等総点検報告書(素案)に対する意見)

提出先の部会：産業振興部会、文化観光スポーツ部会、農林水産業振興部会、

離島過疎地域振興部会、環境部会、福祉保健部会、学術・づくり部会、基盤整備部会

所属部会名： 総合部会

(素案) 章・頁・行	本文	意見(修正文案等)	理由等
報告書(素案) 全般	※図表、本文のデータについて	最新値に更新する。 ※成果指標の数値については、沖縄県PDCA実施報告書(対象年度:平成30年度)に掲載されている数値とする。 その他の本文等の成果指標以外の数値についても、原則として同報告書に掲載されている数値とするが、必要に応じて適宜最新値を使用することも可とする。	図表や本文に掲載されている数値について、古いデータがあるため、可能であれば最新値に更新してはどうか。
3章	※成果指標の掲載について	<成果指標の状況>欄にすべての成果指標(再掲含む)を掲載する。	第3章に掲載されている<主な成果指標>について、主なものだけでなく、全成果指標(再掲含む)を掲載してはどうか。
3章	※成果指標の達成状況の表現について	検証シートで使用している判定基準を用いた表現に統一する。	計画策定時から少しでも数値が伸びていれば「前進している」との表現になっているが、違和感がある。 「検証シート」で使用している判定基準を用いて、「達成」「達成見込」「進展」「進展遅れ」の表現に統一してはどうか。

令和元年度沖縄県振興審議会 第3回総合部会議事録

1 日 時 令和元年9月10日(火) 9:30~11:57

2 場 所 沖縄県庁6階第2特別会議室

3 出席者

【部会委員】

部会長	大城 郁寛	琉球大学国際地域創造学部教授
副部会長	島袋伊津子	沖縄国際大学経済学部教授
	瀬口 浩一	琉球大学国際地域創造学部教授
	下地 祥照	一般財団法人南西地域産業活性化センター専務理事
	高平 光一	公益社団法人沖縄県不動産鑑定士協会会長
	仲宗根君枝	特定非営利活動法人消費者センター沖縄会員
	藤田 陽子	琉球大学島嶼地域科学研究所教授
	真喜屋美樹	名桜大学リベラルアーツ機構准教授
	宮城 嗣三	那覇空港ビルディング株式会社社長

(欠席)

村上 尚子 ころろ法律事務所弁護士

【事務局等】

企画部：宮平参事、武村副参事(企画調整課)、高嶺副参事(企画調整課)、
城間班長(企画調整課)、篠田主幹(企画調整課)、兼島主幹(企画調整課)

1. 開 会

【事務局 城間班長(企画調整課)】

定刻となりましたので、これより沖縄県振興審議会第3回総合部会を開催いたします。

なお、高平委員につきましては、10分ほど遅れるということで連絡がありましたので御報告いたします。

まず本日の配付資料の確認をお願いいたします。

まず次第、出席者名簿、配席図。

資料1：沖縄21世紀ビジョン基本計画(沖縄振興計画)等総点検報告書(素案)【第3回総

うなことは、沖縄らしい社会の変遷のところで整理したほうがいいのかなど。

柱は2つあるのに、今の書き方からすると、産業振興中心の整理の仕方になっているような感じがするものですから、構成を少し調整して、沖縄らしい優しい社会についてのフレームがどうなったのか、平均寿命がどうなったとか、それに関連しそうなデータも出ますので、この辺は少し検討してもいいのかなと思いました。

【事務局 兼島主幹(企画調整課)】

ありがとうございます。

社会経済展望値については、ビジョン基本計画をつくった時点で、この人口とか労働力とか、また経済指標がフレームになっていますので、総点検では経済系中心の書きぶりになっています。

ただ、第2回総合部会でも、沖縄らしい優しい社会をどうしていくのかという話もございまして、何をもって優しい社会なのか、そういった議論を含めて、経済の指標と優しい社会の指標みたいなものが両方ないとバランスが悪いだらうという話だと思いますので、このあたりは次期計画策定に当たってのフレームの議論の中で、優しい社会のフレームはないのかというのは、他県も参考にしながら検討したいと思います。

【大城部会長】

そうですね。何を指標として見るか、これは検討事項かなと思います。

ほかにありますか。なければ、議題に載っている資料を終えまして、事務局からの要望もありまして、少し僕のほうから提案をしたいのですが、ほかに何か言い残したいことがなければ。

事務局とも調整したのですが、1点目は今回の審議期間内の最新データに更新していきたいと。古いデータが残っている場合もありますので、可能であれば新しいデータに更新していきたいと。

それからもう1つ、この部会でも議論になりましたけど、報告書(素案)の主な成果指標の表を、「主な」ではなくて、全ての成果指標を載せてはどうかと。いくつかピックアップして載せてましたけれども、全部載せたいと。それでもそんなに分量は増えないという話でしたので、全部載せたいのですがどうでしょうかということです。

それから、きょうの議題でも最初のほうに議論がありましたが、計画策定時点から少しでも成果指標の数値が伸びていけば前進しているという表現になっていることに対して、いろいろ意見がありました。

こういう意見は他部会でも上がっているようですので、検証シートでは判定基準を用いて、達成、進展遅れなど達成状況の評価を行っていますので、報告書(素案)の表現も、その判定基準で統一したいということです。つまり検証シートの評価基準で素案も統一したいということです。そういうことですが、事務局からそれについて説明ありますか。

【事務局 武村副参事(企画調整課)】

今総合部会長から御提案いただいた内容について、御了承いただけるということであれば、各部会にも同じような指示をしたいと思っております。御検討をお願いいたします。

【大城部会長】

いかがでしょうか。

いい方向になっていると思いますので、ぜひその方向で進めてください。

それでは、これをもちまして本日の審議を終了いたします。委員の皆様におかれましては、お疲れさまでした。

事務局から何か報告事項等ありましたら、よろしくをお願いします。

【事務局 城間班長(企画調整課)】

大城部会長、どうもありがとうございました。また委員の皆様、長時間の審議まことにありがとうございました。

次回の開催日程につきましては、9月末から10月中旬まで県議会が開催されることから、少し間をおきまして、10月23日・水曜日の午後2時を予定してございます。正式な通知につきましては、後日改めて送付させていただきますのでよろしくお願いいたします。

また、本日の議事内容につきましては、1週間後をめどに委員の皆様へ送付し、内容を御確認いただいた上で、県企画調整課のホームページに掲載させていただく予定としておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、これをもちまして本日の沖縄県振興審議会第3回総合部会を終了させていただきます。

委員の皆様、お忙しい中御出席いただき、またたくさんの御意見を賜りありがとうございました。どうもお疲れさまでございます。

5. 閉 会